

【研究全体構想】

目指す子どもの姿

「ともに学ぶ」よきを実感しながら
主体的に「私の学び」を創り続ける子ども

学校教育目標

（１）学習内容を吟味する

（１）教科学習

本質に向かい、生きて働く
力となる教科学習

（２）みのりワールド

子どもがよりよい生き方に向
かって学び続けるみのり
ワールド

（３）道徳

思いやりの心をもちよりよ
いかかわりを求め続ける
道徳教育

（５）学校運営

「ゆとり」を実感できる学校の創造
「人・空間・時間」の視点から

（２）柔軟に学習活動を展開する

（１）学級カリキュラム

子どもの実態に応じた柔軟な
学級カリキュラムの創造

教師の働きかけの視点

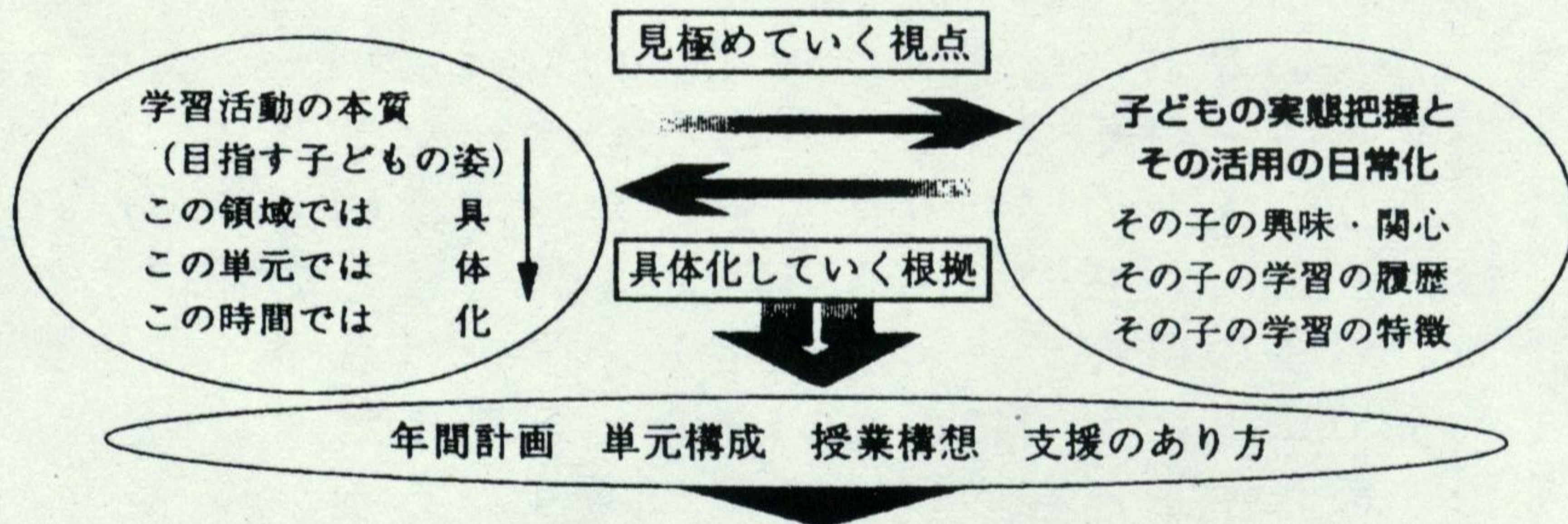
- 一人一人が「自分のこと」とし
て学習できるような学習構成を
工夫する
- 「響き合い」が生まれるような
学びをコーディネートしていく

学校づくりへの下掛かり

- 学習の連続性の重視
- 柔軟なカリキュラムの創造
- ゆとりの実感

（３）学校運営を見直す

子どもたちが「私の学び」を創り続けるための 一人一人の実態把握とその活用の日常化



子ども自身が学習の価値を自覚して、見通しを立てることができるようにする

- ① 学習活動の本質を具体的な子どもの姿と結び付けて、シンプルな言葉で語ることで、これからの取り組み方を明確にしていく。
- ② 確かな見通しのもとに、継続的に子ども一人一人の学習を丁寧に見極めていき、その情報を次の学習に生かすことができるようにする。